

平成 30 年度 地理歴史・公民科初任者研修会 報告書

- 報告者 「深い学びの実現に向けた地歴・公民科教育」
- 実施日時 平成 30 年 10 月 31 日 (水) 12 : 50 ~ 16 : 30 (受付 12 : 30 ~ 12 : 50)
- 研修会場 加藤学園高等学校
〒410-0022 沼津市大岡自由ヶ丘 1979 番地
TEL 055-921-0347 / FAX 054-924-4733
- 参加者 社会科および地歴・公民科新任教員 (1~5 年目)、社会科および地歴・公民科関係教員 29 名
- 指導講師 前田 利久 様 (清水国際高等学校 教頭)
- 日 程
- 12 : 30 ~ 12 : 50 受付 (会議室にて)
- 12 : 50 ~ 13 : 10 開会式 (同上)
会場校校長挨拶 加藤 瑠美子先生 (加藤学園高等学校校長)
部会長挨拶 菊池 基先生 (御殿場西高等学校校長)
講師挨拶
授業者の紹介 (森先生と鈴木先生)
日程説明
- 13 : 20 ~ 14 : 10 研究授業①
森 聡太郎先生
日本史B 「幕政の改革」
(特進部 3 年 2・4 組)
- 14 : 20 ~ 15 : 10 研究授業②
鈴木 力也先生
世界史B 「東アジア文化圏の形成」
(特進部 1 年 4 組)
- 15 : 20 ~ 16 : 40 反省会 (会議室にて)
講評 (指導講師より)
閉会式 (同上)

反省会での意見

- 授業担当者から
 - ・主体的に授業を受けてもらうため、振り返りシートを活用
 - ・本日は時間が足りずに残念
 - ・板書の工夫（色ショックの区分け・赤・黄・白の違いの説明）
 - ・進度は問題ない
 - ・アクティブラーニングが上手にできなかった

- 4グループによる意見交換と発表
 - ・授業導入が上手であった。
 - ・復習しやすいプリントが良い。
 - ・映像の活用が良かった。
 - ・振り返りシートの活用が見たかった。
 - ・ICT・授業者の知識を生かした、スピード性のある授業だった。
 - ・モニターでのグラフの活用が良い。
 - ・ICTで細かい内容（登場人物）まで伝わる。
 - ・個人個人のタブレットも良いが、一斉に見る大きなモニターも良い。（生徒の反応がわかりやすい）
 - ・良い授業だった。
 - ・板書が見やすい。漢字の読み仮名も良かった。
 - ・語句の説明は良い。
 - ・授業導入にマンガやゲームキャラが入り生徒にとっては面白い。
 - ・ロールプレイングは思考力を上げるのに良かった。
 - ・漢字ミスがあった。
 - ・生徒に何を伝えたいか（大切なこと）を明確にしたほうが良い。
 - ・授業展開のつながりを大切にしたいほうが良い。

- 講評
 - ・社会科は教科書だけではなく、視覚的な情報を必要とする。映像・写真・グラフ・地図などICTの必要性が高い。
 - ・「ジョーク」で面白いではなく、「興味・関心」への刺激で面白くしなければならない。
 - ・文字を書くことに気をつかう大切さを理解する。書き順まで気を付けるべき。

- ・登場人物の評価シート（リフレクションシート）の工夫が良い。（生徒に考える力をつけられる）
- ・たくさんの例え話が良い。
- ・机間巡視での話しかけは良い。
- ・授業にもっとつながりを。（自分は知っていても、生徒は知らないことが多い）
- ・位置関係を示すためにも地図の活用が必要か。